

みなさんと力をあわせてがんばります

暴走政治NO! 憲法と平和・暮らしを守ります

- 戦争法を廃止させて立憲主義をとりもどしましょう。
- 村民アンケートでも消費税増税反対は6割です。再引きあげに反対します。
- TPP「大筋合意」を許さず、地域農業の振興をはかります。

自然と環境を守り、安心して暮らせる村に

- 東海第二原発の廃炉を求め、自然エネルギーへの転換を図ります。
- L3（低レベル放射性廃棄物）の素掘り埋設はやめさせます。
- 産廃焼却施設の建設ストップ、美しい東海村の自然と環境をまもります。

子育て支援、老後の安心、住みやすい村づくり

- 高校卒業までの医療費を無料に。幼稚園・学童保育所の保育料値上げストップ。
- 小中学校、保育所の給食調理業務の民間委託に反対します。
- 全ての幼稚園・学校の普通教室にエアコン設置を。
- 国保税値上げに反対し、介護保険利用料助成制度の復活をめざします。
- 店舗・住宅リフォーム助成制度の実現。

わたしたちも応援します

蛭田美咲



菊池 一二



大内よしえ



寺門利之



慣れない育児で悩んでいる時、親身に話を聞いてくれました。原発事故を目の当たりにし、子を持つ親としてとても恐怖や不安を感じています。大名さんは原発問題など私達の願いを託せる方です。（駅東）

産廃処理場建設反対の運動で一緒にとりこんでいます。長いたたかいになっていきますが、「裁判の身では住民のほうに勝っているよ」と、みんなを励ましながら応援してくれています。（川根）

こどものころからよく知っています。からだは小さいがいつも一生けんめいです。女性が議会の中で働くのは大変ですが、地域のためにこれからもよろしくお願ひします。（押延）

震災で緑ヶ丘団地も大きな被害をうけました。「国の支援がどうしても必要」と、国会議員を連れてきて被災者の声を聞いてくれました。宅地改良と保全のための支援制度もできました。（緑ヶ丘）

いのちとくらし、平和がいちばん

戦争法廃止

憲法まもる政府を

いっしょに

みなさまに支えていただきながら、4期16年間に過ぎます。いつでも、村民のいのちと暮らし、子どもたちのすこやかな成長のために必要なことは何か、みなさまの声を伺いながらとりくんでまいりました。

ひたひたと押し寄せてくる若者を戦場に送る足音。何としても止めなければなりません。

東海村に生まれ育った方々や、「住むなら東海村」と選ばれた方々が、ずっと安全に安心して住み続けることができる村のあり方が求められています。

戦争法を廃止し、村民一人ひとりの福祉の向上をはかる村政と、原発が稼働しない東海村のために全力をつくします。

日本共産党 東海村議会議員

大名みえ子

明るい東海
(号外)

日本共産党の政策をご紹介します。
ご意見ご感想をお寄せ下さい。
【発行】日本共産党東海村委員会
電話・FAX 029-284-0761

活動内容をお知らせしています
ホームページでご覧ください

大名みえ子 検索

暴走政治ストップ! だれもが安心して暮らせる村に

願いをとどけて

大震災で村民も甚大な被害を被りました。国会議員とも協力しながら、南台・緑ヶ丘団地の造成宅地被害者の支援に尽力し、活動崩落緊急対策予算を計上させ、一部損壊住宅への修繕費助成等も実現しました。

4期16年間、毎議会で住民の立場で発言して、子どもの医療費無料化、30人学級、介護保険料の引下げなど、村独自の施策を実現しました。

公費を使った議員の海外視察に反対し、(こ)に取りやめ(こ)になりました。「住民こそ主人公」の立場をこれからも貫きます。



**ため込み金は138億円
ひとりあたり
水戸市の7倍!**

「行財政改革」で次々と福祉や教育が削減されようとしています。介護保険在宅サービス利用料や食費への助成、後期高齢者医療保険料の助成が廃止されました。村松宿こども園に続き、小中学校、保育所の給食調理業務の民間委託が計画されています。お金がないのでありません。寄り添う心がないのです。

『日本一の福祉の村』を
これからのめざします。

福祉・教育の削減は許しません



村議会多数は慎重審議や廃案を求める意見書採択の請願を不採択としました。国も村も主権者の意思を反映しないこんな議会ではないのでしょうか。

憲法違反の戦争法強行後も反対運動は広がり続けています。戦争への道を許すことにはなりません。戦争法を廃止し、憲法を守る政府を一緒に作っていきましょう。

どの子ども戦場に送らない!



産廃焼却施設は作らせない!



川根地区に建設しようとしている産廃焼却施設は民家のすぐ隣です。住宅や、乾燥芋・米などの農作物にダイオキシンが降り注いでは大変です。住民は差し止め裁判でたたかっています。



東海第二原発は廃炉に! 原発ゼロをめざします

福島第一原発事故からまもなく5年。今なお10万人以上が避難生活を余儀なくされています。

東海第二原発は運転開始から37年の老朽原発ですが、日本原電は安全審査を申請し再稼働を目指しています。30km圏内に95万人の避難計画には実効性がありません。共産党の村民アンケートでも「廃炉」は「再稼働」の倍以上です。きつぱりと廃炉にするべきです。

